

評価構成

以下の構成で評価を行いました。

ソフトウェア構成

Redhat Enterprise Linux 6 Server	6.7 x86_64 (kernel-2.6.32-573.el6.x86_64)
Redhat Enterprise Linux 7 Server	7.2 (kernel-3.10.0-327.el7.x86_64)
CentOS 6	6.7 x86_64 (kernel-2.6.32-573.el6.x86_64)
CentOS 7	7.2 (kernel-3.10.0-327.el7.x86_64)

ハードウェア構成 (詳細はハードウェア製品情報を参照してください。)

	3.5型モデル	2.5型モデル
BIOS	5.0.0008	
BMC	02.06	
CPU	Intel® Pentium® Processor G4400 3.30GHz/Intel® Xeon® Processor E3-1220v5 3.00GHz	
MEMORY	DDR4-2133 SDRAM DIMM, Unbuffered 8G x 2	
RAID Controller	RAIDコントローラ(RAID 0/1)	RAIDコントローラ(1GB, RAID 0/1/5/6)
HDD	3.5型 SATA 500G x 2	HDD 2.5型 SAS 300G X 3
VIDEO	Matrox G200e pilot	
LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T x 2	
USB	7 x USB3.0	

動作確認結果

○: 当該ディストリビューションで動作可能

項目	確認結果	確認方法	注意事項など
インストール	○	グラフィカルインストールできる事を確認	特にありません
CPU	○	/proc/cpuinfoにて、動作周波数、論理CPU数を確認	特にありません
メモリ	○	/proc/meminfoにて総容量を確認	特にありません
キーボード/マウス	○	X Window Systemでの動作を確認	特にありません
LAN	○	(1)	特にありません
ビデオカード	○	X Window Systemでの動作を確認(TFT液晶ディスプレイ17型-Lを使用)	特にありません
FAN障害	○	ipmievdにて、FAN障害が/var/log/messagesに記される事を確認	特にありません

周辺機器確認結果

○: 当該ディストリビューションで動作可能

営業形番	名称	確認結果	確認方法
TN8151-134T	内蔵DVD-ROMドライブ	○	(1)
TN8160-97T	外付DVDSuperMULTドライブ	○	(1)
TN8103-188T	RAIDコントローラ(RAID 0/1)	○	(1)(2)(5)
TN8103-176T	RAIDコントローラ(1GB RAID 0/1)	○	(1)(2)(5)
TN8103-177T	RAIDコントローラ(1GB RAID 0/1/5/6)	○	(1)(2)(5)
TN8103-178T	RAIDコントローラ(2GB RAID 0/1/5/6)	○	(1)(2)(5)
TN8103-179T	RAIDコントローラ(2GB RAID 0/1/5/6/50/60)	○	(5)
TN8190-157AT	Fiber Channel コントローラ	○	(5)
TN8190-158AT	Fiber Channel コントローラ	○	(5)
TN8103-142T	SASコントローラ	○	(5)
TN8103-184T	SASコントローラ	○	(5)
TN8104-150T	1000BASE-T 接続ボード(1ch)	○	(1)(2)(6)
TN8104-151T	1000BASE-T 接続ボード(2ch)	○	(1)(2)(6)
TN8104-152T	1000BASE-T 接続ボード(4ch)	○	(1)(2)(6)
TN8104-149T	10GBASE接続基本ボード(SFP+/2ch)	○	(1)(2)(6)
TN8104-153T	10GBASE接続基本ボード(2ch)	○	(1)(2)(6)
TN8142-22AT	無停電電源装置(750VA)(ラックマウント用)	○(※1)	(7)
TN8142-100T	無停電電源装置(1200VA)(ラックマウント用)	○(※1)	(7)
TN8142-101T	無停電電源装置(1500VA)(ラックマウント用)	○(※1)	(7)
TN8142-102T	無停電電源装置(3000VA)(ラックマウント用)	○(※1)	(7)

(※1) 使用したPowerChute Business EditionのバージョンはV9.1.1です。

注意/制限事項

上記構成で評価した結果の注意/制限事項は以下の通りです。

- オンボードのRAIDコントローラについて
オンボードのRAIDコントローラは使用できません。オンボードのRAIDコントローラを無効にする設定方法は、ユーザーズガイドを参照してください。
- インストールについて
RHEL6/CentOS6の場合には、tbootパッケージをインストールしないでください。起動障害の原因となります。
- Linux用RAIDユーティリティについて
RAIDシステムやRAIDコントローラの障害監視や管理をされる場合には、Linux用RAIDユーティリティをご利用ください。
- サーバー管理について
MAGNIA R1310eのBMC (Baseboard Management Controller) は、ご利用いただくディストリビューションのIPMI (Intelligent Platform Management Interface) に対応しています。サーバー管理に必要なIPMIのさまざまな機能を利用するためには、IPMI機能を有効にしてください。
- USBデバイスについて
コンピューターの立ち上げやシャットダウンを行う場合には、USB機器を外してください。USB機器を装着したままで、コンピューターの立ち上げやシャットダウンを行うと、途中で停止することがあります。
- ESM/ServerAgentServiceを使用する場合について
ESM/ServerAgentServiceのSEL監視サービス(ESMsmsrv)を使用する場合には、ipmievdを無効にしてください。
- Linux用RAIDユーティリティを使用する場合について
Linux用RAIDユーティリティをRHEL7.2で使用される場合には、カーネル起動オプションにnosmapを追加してください。